

九州観光推進機構 活動レポート

— 2012年12月号 —

感動がある。物語がある。九州



◆ 11月のトピックス

○ World Trail Conference in 済州に参加 (10月29日～11月1日:韓国済州)

ロングトレイルの世界会議であるWorld Trail Conferenceに九州観光推進機構が参加いたしました。英国のフットパスなど世界中のトレイル団体が集まり、取り組みの共有がなされました。日本からは四国のお遍路とともに九州オルレが紹介され、九州観光推進機構の武濤部長が事例プレゼンテーションを行いました。また九州オルレ武雄コースのある佐賀県武雄市から樋渡市長も参加されました。



○ 2012年度「第2回評議員会」を開催 (11月2日:福岡市)

機構の2012年度「第2回評議員会」を開催し、事務局から以下の議案等についての説明を行いました。議案は審議の結果、原案で理事会に諮ることとなりました。

＜議案：理事会審議事項＞

- ・2012年度事業計画追加(案)、2012年度補正予算(案)、役員の選任(案)、評議員の選任(案)、顧問委嘱(案)、観光アドバイザー委嘱(案)、新規入会会員の承認 以上7件

＜理事会報告事項＞

- ・2012年度事業実施状況、「総合特区」申請、その他報告事項に関して、JNTO(日本政府観光局)が実施する外国人観光案内所認定申請への働きかけ、特区申請に対する各県からの側面支援の必要性などの意見をいただき、今後機構の取り組みに生かしていくことにしています。



○ 西日本支店長会及び福岡大学での講演 (11月5日、16日:福岡(福岡国際ホール、福岡大学))

福岡都市圏に支店を置く企業などでつくる西日本支店長会の11月例会で九州観光推進機構の高橋本部長が九州の観光戦略について講演しました。高橋本部長は、人口減少が進む中、交流人口を増やすことが地域経済の活性化につながることや、歴史や文化など九州の特色を生かした広域ルートづくりを進めていることを説明しました。また、日中関係の悪化が観光に影響していることについては、一時的な問題で、中国に近い九州は有利と、今後も中国人の誘客に力を入れる考えを示しました。

また、11月16日には福岡大学にて九州地域ブランドと迎客戦略について特別講義をいたしました。



○ 遼寧省教育関係者等を招請 (11月6日～10日:福岡、長崎、佐賀、熊本)

遼寧省の教育関係者等7名を招請して、5県を回るファミトリップを行いました。九州の有する豊富な自然・文化・技術等の紹介、学校交流や有名窯元での絵付け体験を通して、修学旅行に適した九州をアピールしました。

○ タイのマスコミ(雑誌)を招請 (11月7日～13日:福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎)

タイの旅行雑誌「honeymoon + travel」のモデル及び取材記者計9名を招請。モデル班は、中華航空の乗り入れにより、タイを含む東南アジア諸国から同日乗り継ぎの旅行日程が可能となった宮崎県で撮影取材を行い、記者2名は全行程で観光取材を行いました。2013年2月タイで開催される最大の旅行博「TITF 2013 #12」に向けて、同誌の特徴である、ハイグレードで清潔感溢れる内容で、九州観光の上質感を効果的に発信します。



○ 旅フェア日本2012に出展 (11月9日～11日:東京(サンシャインシティ))

国内最大級の旅の総合見本市「旅フェア日本」(主催(社)日本観光振興協会)に出展し、首都圏の旅行に関心の高い一般来場者や、観光関連関係者に対し、九州観光のPRを行いました。

来場者はフェア全体では三日間で計93,099人、九州観光推進機構のブースには約4,000人の来訪があり、九州観光プロモーション映像「ぐるり九州列車旅」の上映やキューちゃん、くまモンによる観光PRなどを行いました。



○ VISIT JAPAN TRAVEL MARTに出展 (11月13日～14日:横浜)

観光庁主催。横浜で開催された「VISIT JAPAN TRAVEL MART」(セラー側:自治体、観光協会、旅行会社等312社(含む大分県、鹿児島県、杵築市)、バイヤー側:世界各国旅行会社285社及びメディア20社)に出展し、各国旅行会社27社及びメディア7社と商談形式で、九州観光をPRしました。



○ 2012年度「第2回理事会」を開催 (11月14日:福岡市)

機構の2012年度「第2回理事会」を開催し、事務局から以下の議案等についての説明を行いました。議案は審議の結果、原案どおり承認されました。

<議案:審議事項>

- ・2012年度事業計画追加(案)、2012年度補正予算(案)、役員の選任(案)、評議員の選任(案)、顧問委嘱(案)、観光アドバイザー委嘱(案)、新規入会会員の承認 以上7件

<報告事項>

- ・2012年度事業実施状況、「総合特区」申請、その他(インバウンド観光アドバイザー、年次有給休暇取得促進)

審議事項のうち現在新コースを調整中の九州オルレに関しては、更なる情報発信や連泊出来る仕組みの検討等についてのご要望をいただき、今後機構で検討していくことにしています。また、中国市場が不透明な中、中国以外のASEAN市場も重視していくことが確認されました。



○ 平成25年度上期観光素材説明会・相談会を開催（11月15日：福岡）

先月より東京、名古屋、大阪、広島と続いてきた平成25年度上期の観光素材説明会・相談会の最後の説明会を福岡にて開催しました。

会員旅行社10社、JATA関係10社、その他3社、メディア関係11社、総合計132名のご参加を頂きました。九州運輸局の池端企画部次長の来賓挨拶を頂き、盛大なる説明会、相談会になりました。

九州の観光客の6割が九州居住者であることから、隠れた観光情報を数多く発信していくことが誘客に繋がるため、各県より多くの情報が発表されました。



○ 台湾MOOK出版ガイドブック「九州自遊人」取材を支援（11月15日～21日：福岡、佐賀、熊本、大分、鹿児島）

台湾のMOOK出版が個人旅行者向けのガイドブック「自遊人」シリーズの九州版の発行を来年2月に予定しており、温泉、ショッピング、交通システムを中心に取材するため、同社から記者とカメラマンの2名が6泊7日の行程で九州内を回りました。実際の刊行物には、景観、グルメ、四季の体験の情報も併せて掲載される見込みです。今回の取材スタッフの経費については、往復の航空運賃をエバー空港にご負担いただき、当機構からは九州新幹線、レンタカー及び宿泊についての支援を行いました。



○ 九州オルレを活用したインバウンドフォーラムに参加（11月17日：熊本）

九州オルレを活用したインバウンドフォーラムが熊本県上天草市で開催されました。韓国観光公社の李副社長の講演ののち九州観光推進機構の大江アドバイザーが上天草市の川端市長、済州オルレの徐理事長とともにパネラーとして参加いたしました。熊本県上天草市には九州オルレの既存コースの一つである維和島コースがあります。



○ 九州インバウンド商談会を開催（11月24日～28日：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島）

中国の有力都市から旅行会社20社の幹部等を招請し、九州内へのファムトリップ（3コース）・観光説明会を行うとともに、九州の観光関係者63団体との商談会、九州の観光関係者向けのセミナーを開催しました。九州再発見をテーマに個人旅行やラグジュアリー旅行等を想定したファムトリップ・観光説明会は、好評を得、新たな商品造成が期待されます。



○ 香港旅行雑誌「Uマガジン」九州取材を支援（11月25日～12月2日：熊本、大分）

香港の有力な旅行雑誌の一つである「Uマガジン」が九州特集を企画し、編集兼記者、カメラマン及びモデルの3名が、熊本・大分両県を取材するため、7泊8日で九州を訪問しました。由布院温泉及びその周辺を取り上げる特集は12月21号に掲載予定、熊本市内と阿蘇についてはその後（掲載号未定）となります。往復の航空券はキャセイパシフィック／ドラゴン航空が提供、当機構からは、九州内移動費、宿泊費及び通訳ガイド経費について支援を行いました。



○ 九州オルレの情報発信(11月25日～12月2日:佐賀・熊本・大分・鹿児島)

韓国における九州オルレの情報発信として、KCTV テレビ局の招請を行いました。九州オルレや周辺観光地を紹介するプログラムを制作し、12月末～1月中旬にKCTVで放送する予定です。KCTVは済州唯一のケーブルテレビ局ですが、全国ケーブル YTN、MBN、TV Chosun、Arirang 等多くの TV 局と連携し、韓国の全土でも放送してもらう予定です。



○ 女子旅研修ツアー（1班）を実施（11月28日～30日:佐賀・熊本・大分）

首都圏の旅行会社窓口担当者による九州女子旅検証研修ツアーを3班編成で実施しました。詳細は12月実施の第2班、第3班終了後に報告する予定です。

○ 「九州みちあんない」を発行(11月)

九州の2次交通を、旅行会社及び一般のお客様向けに分かり易く解説したパンフレット「九州みちあんない」を新規に作成し、素材説明会に参加された旅行会社各社に送付すると共に、TIC TOKYO や大阪梅田駅ブースなどへ設置しました。

早速、旅行会社から追加送付依頼が来るなど、良い反響を頂いております。今後も当機構イベントでの配布等を行っていくことで、九州への誘客増が期待されます。



○ 「九州イベント集 冬号」を発行（11月）

12月～2月の期間に九州各地で開催される様々な祭りやイベント情報をタイムリーで使い勝手の良い形でまとめた「九州イベント集 冬号」を制作しました。

当機構イベントでの配布及び TIC TOKYO や大阪梅田駅ブースなどへ設置し、九州域外の方へ旅行先として九州を選択して頂き、さらにもう一箇所、もう一泊を促していきます。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 新入会員企業のご紹介

新たに次の企業が会員になりましたので、お知らせいたします。(敬称略)

・社会医療法人 天神会（古賀病院グループ） 所在地 久留米市天神町 120 番地
代表者 理事長 古賀 伸彦

○ 人事往来

本年11月に事業本部スタッフの人事異動がありましたので、よろしくお願ひ申し上げます。

【転入者】 [] 内は派遣元

国内誘致推進部次長 澤田 直道 [株式会社 JALセールス]

国内誘致推進部主任 入佐 香織 [株式会社 パソナテック]

○ 12月以降の主な事業

- ・台湾エバー航空キーエージェント研修旅行招請（12月2日～12月5日：福岡、熊本、大分）
- ・フィリピンにおける観光セミナー・商談会への参加（12月4日～5日：マニラ）
- ・シンガポールのマスコミ（雑誌）招請（12月4日～9日：福岡、熊本、鹿児島）
- ・教育旅行説明会（12月5日：名古屋）
- ・女子旅研修ツアー（2班）（12月5日～7日：宮崎、鹿児島）
- ・香港旅行雑誌「ウィークエンドウィークリー」への広告出稿（12月10日：佐賀、大分、宮崎）
- ・女子旅研修ツアー（3班）（12月13日～14日：福岡、長崎）
- ・総合特区ヒアリング（12月17日：東京（内閣府））
- ・九州各県担当者会議（12月18日：電気ビル共創館）
- ・九州教育旅行現地視察会（12月22～24日：南九州3県（熊本・宮崎・鹿児島））
- ・ひなの国九州フェスタ開催（1月16日～1月27日：九州国立博物館）
- ・観光プロモーション（1月18日～1月20日：東京（羽田空港））
- ・台湾メディア（活字媒体＋ブロッガー）招請（1月：7県）
- ・在京ランド社招請（1月：長崎、熊本、大分）
- ・おもてなしフォーラム2013 in九州（1月23日：熊本）
- ・「九州オルレ」現地視察研修会（1月23日～24日：武雄、天草）
- ・九州観光ボランティアガイド大会 in 佐賀（2月5～6日：佐賀）
- ・九州・沖縄春の大観光展開催（2月15日～17日：イオンモール広島府中）
- ・九州観光物産展（仮称）（2月23日～24日：大阪府豊中市）

本年も余すところわずかとなりました。皆様におかれましては、九州観光推進機構の事業運営にご理解、ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

九州観光を取り巻く環境につきましては、東日本大震災、九州新幹線鹿児島ルート of 全線開業から1年半が経過し、夏前までは九州域外からの多くの観光客の来訪により回復の兆しが見えましたが、7月の集中豪雨による被害、さらには9月の尖閣列島や竹島を巡る中国・韓国との関係悪化などにより、両国からの団体客のキャンセルが相次ぐなどの大きな影響が出ました。

機構としましては、国内外の観光プロモーション活動、観光人材の育成・活用等を推進してまいりましたが、回復までには先行き不透明な状況です。

来年度は「第三次九州観光戦略」（2011年度～2013年度）の最終年度にあたり、次期観光戦略についても検討を進めてまいります。来年もご助言となお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、来年は日・ASEAN友好協力40周年にあたります。東南アジア諸国において日本への興味関心が一層高まり、観光をはじめとする人的・経済交流が深まることを期待しております。

最後になりましたが、来年が皆様にとって一層のご発展とご多幸の一年となりますよう、機構職員一同祈念いたしております。

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 佐藤

TEL : 092-751-2943 E-mail : info@welcomekyushu.jp